

中期  
28.11.26

平成29年度

教科・領域教育専攻言語系コース（英語）

## 試験問題表紙

### 解答上の注意

1. 表紙1枚, 問題用紙3枚, 解答用紙3枚あるかどうかを確認のこと。
2. 英語科教育分野, 英語学分野, 英米文学分野のうちから1分野を選択し解答すること。
3. 選択した分野を解答用紙にある選択受験分野表の分野欄に○印を入れて示すこと。
4. 選択しない分野の解答用紙には, 用紙全面に「×」を大きく表示すること。
5. 全ての解答用紙の受験番号欄に受験番号を必ず記入すること。
6. 解答は, 解答用紙の解答欄に記入すること。
7. 試験終了後は解答用紙のみを回収するので, 解答用紙以外は持ち帰ること。
8. 外国人受験者は, 問題の指示にかかわらず, すべての問題に英語で解答することができる。

教科・領域教育専攻言語系コース（英語）試験問題

問題用紙全3枚（その1）

[英語科教育分野]

問題1 次の英文を読み，下記の設問に日本語で答えよ。

著作権の関係により掲載いたしません

- 問1 下線部(1) “CLT (Communicative Language Teaching)” とは，どのような指導方法か，具体例を示して説明せよ。
- 問2 下線部(2) “attention to form” について，第2段落の内容に即して説明せよ。
- 問3 下線部(3) “Grammar is important” の意味を，第3段落の内容に即して説明せよ。

問題2 次の日本語を英訳せよ。

著作権の関係により掲載いたしません

教科・領域教育専攻言語系コース（英語）試験問題

問題用紙全3枚（その2）

[英語学分野]

問題1 次の英文を読み、下記の設問に日本語で答えよ。

著作権の関係により掲載いたしません

問1 本文中の“negative evidence”とは何か説明せよ。

問2 “Baker’s paradox”について本文に即して説明せよ。

問題2 次の日本語を英訳せよ。

「ことば」と「意味」が無関係だと考える人はいない。それどころか、「ことば」という語を聞けば、「意味」を連想する人がほとんどだと思われる。それほどに「意味」は「ことば」の重要な側面を担っているのだ。

にもかかわらず、言語学、つまりことばを対象とする学問においては、意味の研究が本格化するのには遅かった。言語学者より早く意味論を本格的に取り上げたのは、哲学者であったが、その研究対象は日本語とか英語などの「自然言語」ではなく、記号論理学（symbolic logic）という「人工言語」だった。

（出典：今井邦彦・西山佑司（2012）『ことばの意味とはなんだろう—意味論と語用論の役割』岩波書店、一部改変）

教科・領域教育専攻言語系コース（英語）試験問題

問題用紙全3枚（その3）

[英米文学分野]

問題1 次の英文を読み、下記の設問に日本語で答えよ。

著作権の関係により掲載いたしません

注) 1. fodder: 素材

2. Caroline Barr: フォークナー家のお手伝い, ウィリアム・フォークナーの黒人ばあや

3. Rowan Oak: フォークナー家の自宅

問1 下線部の“this pattern”とは何か。本文に即して説明せよ。

問2 シャーウッド・アンダソンがフォークナーに与えた助言の要点は何か。端的に説明せよ。

問3 フォークナーが好んだ物語はどのようなものであったか。本文に即して説明せよ。

問題2 次の日本語を英訳せよ。

著作権の関係により掲載いたしません